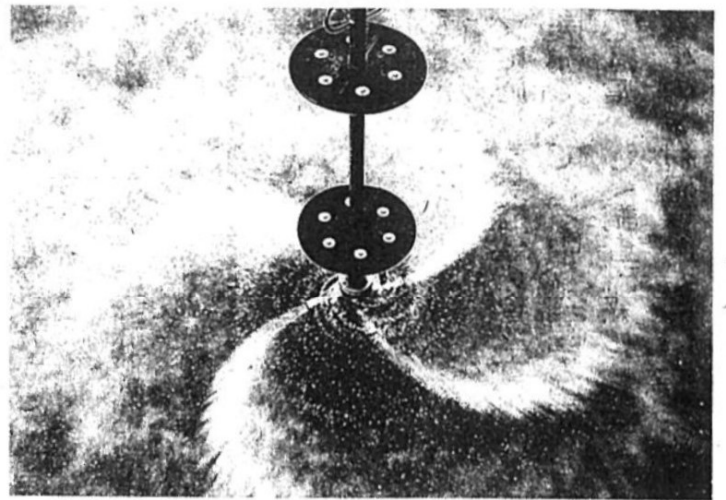


## 高水圧で井戸を洗浄

ヴィーマ(福井)が新工法



井戸を洗浄するため高圧の水を噴射するノズル(ヴィーマ提供)

井戸工事・水まわりメンテナンスのヴィーマ(本社福井市大瀬町、鈴木和男社長)がこのほど、井戸を高圧の水で洗浄する工法を改良した。従来工法より水圧を高めることで、井戸管にたまった砂や泥の除去

をより確実にを行い、井戸の長寿命化につなげるとい

う。20年以上経過した井戸管は側面の穴に砂や泥が詰まり、揚水量が低下することがあるという。新工法は、管の内側で洗浄ノズルを高速巡回させながら最大水圧41・5<sup>メガ</sup>の水を噴射し、汚れや穴の詰まりを取り除く方式。従来型(最大水圧25<sup>メガ</sup>)より水圧を大幅に

高めたことで洗浄時間を短縮でき、最短3日半程度で施工できる。高圧を発生させる新型の洗浄車を9月に導入し、新工法による洗浄を開始する。

農業用、工業用、融雪用などあらゆる用途の井戸に対応する。同社によると国内に井戸は100万本以上あり、「高度経済成長期に作られた井戸も多く、それらは補強や洗浄が必要になってくる。需要は増えるだ

ろう」と見込んでいる。

同社は1999年に井戸洗浄を始め、これまでに農業、工業、融雪用など全国で1200件施工した。

(青木孝浩)